

発行所
真宗大谷派宗務所
代表者 木越 渉
編集/東本願寺出版(真宗大谷派宗務所出版部)
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る
TEL.075-371-9189(東本願寺出版)

購読料 無料
送料 1部1カ年1,300円
(1,182円+税10%)※部数により変動
振替口座番号 01000-6-27404
加入者名 東本願寺出版部

東本願寺公式YouTubeにて
さまざまな行事の様子を
公開しています。



東本願寺NEWS 検索

どうぼうしんぶん

同朋新聞

Dōbō Shimbun

2

Vol. 807
February 2025



真宗本廟奉仕での座談会

今月の写真

同朋会館に宿泊して、寝食をともにしながらお念仏の教えを聞き、語り合い、清掃奉仕などを行う真宗本廟奉仕。思いを言葉にし、お互いの声を聞き合うことをとおして自分を見つける座談会は、同朋会館での生活の魅力の一つです。

(8面で奉仕団の募集をしています)

今月の法話 如是我聞

「そのかごを水につけよ」

九州教区 久留米三井組 真教寺
草野 顕之(72)

昨年十月、岐阜県の揖斐川上流地域の寺院・門徒で行われている「十日講」にお招きに預かった。この地は、教如上人が二度にわたって訪れられ、篤くもてなした村人に、上人はお礼として自らの御影を授与された。その御影を持ち回りし、会所の寺院で御影を中心に「十日講」という法座が毎年持たれている。コロナにより二度中止されたが、昨年から再開したとのことであった。

会所の本堂で、ご門徒方と顔を合わせていると、ふと蓮如上人の言葉が思い出された。

蓮如上人は、ご門徒の一人が、自分はいくら聴聞しても籠から水が抜けるように、すぐに忘れてしまいますと言うと、「その籠を水につけておきなさい、我身を法にひたしておくのです」と教えられたと言われる。

蓮如上人はまた、「往生は一人一人のしのぎなり」とも言われ、他人事のように仏法を聴聞することを厳しく諫められてもいるが、一人ひとりが「後生の一大事」として仏法をいただくためには、我身を法水にひたすような環境に置くことが大事であることを、先のように教えておられたのではなからうか。

真宗門徒は、寺院での講で、また地域社会の講で、こうした信仰生活を送ってきた。そのことを強く思わせられる「十日講」での経験であった。

CONTENTS

宗会招集

2・3面



通信員リレーレポート

4面

現在を生きる

縁—お寺の掲示板— 第18回
第255回

5面

ひかりを伝えたひと

—七高僧と聖徳太子— 第14回

6面

蓮如上人
御影道中



2023年度決算概況(要旨)



財務長 長峰 顕教

2024年宗会(臨時会)に提出の決算関係の議案について、2023年度決算概況を申し上げます。

度に比して拝観者は2万6千人以上の増加となり、過去最高の渉成園庭園維持寄付金の収入となりました。

一方で、「同朋会館冥加金」は、団体数は目標に達したものの1団体あたりの上山人数の減少傾向に加え、関係学校の上山研修の中止も相俟って、収納率は79.6%となりました。

次に、経常部歳入は、76億7,136万円であり、予算に対して98.2%の執行率であります。執行率が低い主な科目として、「解放運動推進本部費」は、「是旃陀羅」の課題に取り組む学習テキスト『御同朋を生きる』の編纂スケジュールに変更が生じたため、その後の研修会の開催を見送ることとなり、執行率は67.6%の減額執行となりました。また、「同朋の会推進講座費」は、教区慶讃法要の準備に注力したことなどにより、実施予定の教区・組において、延期・中止となったことから、執行率は69.8%と減額執行になりました。

一方で、予算超過となった科目として、「青少年センター費」は、慶讃法要を機縁として発刊いたしました『真宗児童聖典』の反響が大きく、全国の寺院・教会およびご門徒の皆さまからのお求めに応えるべく重版したことから予算超過となりました。加えて、住職慰労金の給付件数増に起因する「第1種共済制度運用費」、慶讃記念衣体調製に係る「調進費」等が予算超過となっております。

また、2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震の支援については、「災害見舞費」において、被災教区への見舞金、救援物資、ボランティア活動助成、職員派遣に係る経費を執行したことにより、執行率は2,373.4%

となりました。この予算超過額は、条例に基づき災害見舞費の不足額7,979万円を災害見舞準備金から繰入れました。

なお、このたびの震災に対する救援金の勸募につきましては、2024年6月30日現在で2億3,490万9,521円の救援金を全国からお寄せいただきました。被災された方々に思いを馳せ、救援金を届けてくださったことに対し、厚く御礼申し上げます。なお、救援金は、2023年度に能登教区に2億円、新潟教区へ100万円、富山教区へ100万円、金沢教区へ500万円を給付いたしております。

次に、臨時部においては、慶讃事業推進資金を原資に「慶讃事業継続費」を2023年度より予算化しています。その中で、慶讃記念事業として『真宗聖典第二版』を東本願寺出版から2024年4月1日に大・小各1万部を発売することができ、2023年度内の3カ月で約5,500部をお求めいただいています。

総じて、2023年度一般会計経常部臨時部決算の歳入予算超過額は3億3,434万円、歳出差引剰余金は5億5,889万円となりました。

次に、特別会計の中から、第2種共済特別会計についてですが、令和6年能登半島地震の被害報告件数をもとに歳出の部の第2種共済の査定に係る経費を算出し予算を補正した「事務費」は、提出資料に基づく査定に多くの被災寺院・教会がご協力くださったことをはじめ、能登教務所を査定員の拠点として、査定員の旅費・宿泊費を抑制できたことから執行率は65.5%となりました。

以上、2023年度決算概況といたします。

第76回宗議会 招集

第73回参議会



当派の最高議決機関である宗会(臨時会)が招集され、昨年12月11日から13日まで宗議会が、16日から18日まで参議会が開かれた。

今議会では、決算審査の充実と早期の決算承認を目的とし、2023年度の決算などが審議された。決算の早期承認については、長年にわたる議論を踏まえ、このたびの臨時会の招集に至った。

なお、当局が提案した案件はすべて可決された。可決された案件は以下のとおり。

- ◆ 真宗大谷派所有土地(京都市左京区聖護院円頓美町)処分(一般定期借地権設定契約)の承諾を求める件
- ◆ 2023年度 真宗大谷派経常部臨時部歳入歳出決算書
- ◆ 2023年度 第2種共済特別会計歳入歳出決算書
- ◆ 2023年度 東本願寺出版特別会計歳入歳出決算書
- ◆ 2023年度 東大谷墓地特別会計歳入歳出決算書
- ◆ 2023年度 首都圏教化推進特別会計歳入歳出決算書
- ◆ 2023年度 別途会計諸勘定計算書

宗務総長挨拶(要旨)



宗務総長 木越 渉

平素は、法義相続・本願護持、そして、同朋会運動の推進に多大なご尽力を賜っており、まずもって、本年1月1日に発生した「令和6年9月能登半島豪雨」により被災されましたすべての方々に、衷心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を念じ申し上げます。本年の宗会常会(臨時会)における演説において、「本願念仏の御教えに出遇ったことのできた身としての仏教的大乗の支援」ということを申し上げました。宗派にとって史上最大級の被災であるとの認識のもと、念仏の声が再び能登の地において響き渡るよう、引き続き内局・宗務役員一同、息の長い支援に、最大限の力を尽くしてまいります。

さて、このたびの臨時会は、決算審査の充実と早期の決算承認を目的として、2023年度の決算を審査いただくため招集をさせていただきます。

この経緯につきましては、皆さまも十分に承知のことと存じますが、長年にわたり宗議会・参議会両会にて議論が行われ、去る宗会(常会)においても両議会から「宗会における決算審査及び決算承認の早期化を求める建議」が提出され、それぞれ全会一致にて議決されました。実効性及び即応性を重視した決算審査の充実、宗門の重要課題であります行財政改革の取り組みとも連動するものであることと受けており、内局といたしましても、両議会からのご要望を真摯に受けとめさせていただきます。

このたび、決算審査のための臨時会の招集に至ったものであります。なお、本議会の運営につきましては、現行法規に基づきつつ、議会の運営上の変更をもって可能な範囲での審査をいただくことでありますが、本臨時会を経て引き続き、議会で内局が相互に協力しつつ、さらなる検討を行い、よりよい運営形態を形作ってまいりたいと存じます。

2023年度の決算概況については、財務長からの議案説明に委ねますが、2023年度を振り返ってみますと、真宗本廟における「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」が完遂された翌年度ということで、今こそ宗祖のご教示に基づき「足もとを明らかにする」ことを「要の課題」として受けとめさせていただいたことは演説でも申し上げたとおりであります。そのような中、北陸能登地方を巨大地震が襲いました。「慶讃法要」と「能登半島地震」という重大な出来事を経験した私たちが成すべきことは何か。真宗本廟での慶讃法要は完遂されましたが、教区の慶讃法要はいよいよこれからであります。まだ終わっておりません。そして、能登半島地震で被災された寺院・ご門徒の復興もまだ途上であります。

内局といたしましては、教区の慶讃法要、そして能登半島地震への支援ということこそ最重要事項として、同朋社会の実現に向けた僧伽回復の取り組みを進めていかなければならないと、ここにあらためて決意を表明させていただきます。

引き続き、皆さま方のご理解とご尽力を得て、宗門一丸となって進めてまいりたく存じます。

1 相統講金
「法義相続(お念仏の教えを次代に伝えていくこと)」と「本願護持(聞法の根本道場である真宗本廟の維持)」を願いとする宗派財政の基盤となるご懇志です。相統講金をお納めいただいた賞典(御礼)としては、「肩衣」「院号」「真宗本廟取寄」があります。

2 同朋会員志金
同朋会運動推進のため会員志を皆さまからお納めいただいております。

3 斎冥加金
真宗本廟におけるお斎及び渉成園における粥膳のお申込みの際にお納めいただく冥加金です。

4 読経志
真宗本廟及び大谷祖廟における読経のお申込みの際にお納めいただくご懇志です。

5 同朋会館冥加金
真宗本廟奉仕のお申込みの際にお納めいただく冥加金です。

6 読経志
真宗本廟におけるお斎及び渉成園における粥膳のお申込みの際にお納めいただくご懇志です。

7 同朋の会推進講座費
一カ寺一カ寺に同朋の会が開かれていくことを目標に教区への助成や同朋の会の事例を紹介するハンドブックの編集などに関する予算が計上された科目です。

8 青少年センター費
真宗本廟における青少年教化に関する事業や青少年教化に取り組む団体への助成などに関する予算が計上された科目です。

9 慶讃事業継続費
2022年度をもって閉鎖した慶讃事業特別会計について、閉鎖後も継続して取り組む事業や教区慶讃法要修復の推進などに関する予算が計上された科目です。

首都圏教化推進特別会計	
歳入の部	222,063,399円
歳出の部	200,984,487円
歳入歳出差引剰余金	21,078,912円
首都圏開教推進資金へ繰入	

東大谷墓地特別会計	
歳入の部	132,050,035円
歳出の部	107,461,286円
歳入歳出差引剰余金	24,588,749円
剰余金処分 墓地整備準備金へ繰入 12,294,375円 2025年度へ繰入	

東本願寺出版特別会計	
歳入の部	422,755,008円
歳出の部	402,621,688円
歳入歳出差引剰余金	20,133,320円
東本願寺出版特別会計運営資金へ繰入	

第2種共済特別会計	
歳入の部	534,089,426円
歳出の部	281,003,706円
歳入歳出差引剰余金	253,085,720円
復興共済積立金へ繰入	

一般会計	
— 歳入の部 —	
経常部	8,134,184,846円
臨時部	416,559,578円
災害見舞準備金繰入	79,797,856円
計	8,630,542,280円
— 歳出の部 —	
経常部	7,671,367,004円
臨時部	400,275,828円
計	8,071,642,832円
歳入歳出差引剰余金	558,899,448円
剰余金処分	279,449,724円
平衡資金へ繰入 279,449,724円 2025年度へ繰入	

2023年度 宗派の決算

通信員リレーレポート

第255回 いまを生きる

教えの響きに 身を置き続けて

岡崎教区 第15組
正林寺門徒
中川 庄嗣さん(87歳)



「和讃講」の様子

愛知県西三河地方ではかつて、僧侶とともに声を出し、報恩講などの本格的なお勤めも一緒に行う「和讃講」と呼ばれるお講が盛んで、各寺院・地域などで数多く組

織されていた。しかし、高齢化・後継者不足によって解散してしまったケースも多く、コロナの影響もあって、衰退がより進んだ。
中川庄嗣さんの手次寺の正林寺でも、かつては和讃講の活動が盛んで、数多くの法話会も開かれていたが、今では以前のような賑わいはない。しかし中川さんは、足が不自由になった今でも、杖をたよりに仏法の声が響く場に、自身の身を置き続けようとしている。
中川さんが仏教に興味を持ったきっかけは、少年時代の父の死であったという。「中学2年生の時、父が病に倒れ、数カ月で七くなりました。釣りに連れて行ってもらった



中川庄嗣さん

日本全国のご門徒の方々と各地で開かれている同朋の会を紹介します。

り、とても大好きだった父親の死を目の当たりにして、こんなにも人間はあつげなく逝ってしまうのかと、「と当時を振り返る。「私も死ぬのか?」「仏教は何を教えてくれるのだろうか?」。安置されたお内仏を前にして、若き日の中川さんに、人生の根幹に関わる疑問が残った。

30代後半のある日、会社の帰り道、正林寺の「正信偈に聞く」という夜間勉強会の案内が目にとまり、「会社勤めでも参加できると思いい、飛び込みました」と中川さん。講師の話がとても興味深く、毎回考えさせられ、だんだんと真宗の教えに引き込まれていったという。また、話の前に声をそろえて皆でお勤めをしていた和讃講にも惹かれ、その門を自分で叩いたそう。

90才近くなった今も中川さんの歩みはとどまらない。
手次寺の報恩講では「伽陀」とよばれるお勤めの最初の箇所を、和讃講のメンバーが一人ずつ発声する。「難しいし、緊張もします。伽陀が7種類もあって、長時間にわたります。大変ですがやりがいがあります」と中川さんは語る。和讃講でのお勤めの練習を先導したり、一番前の席で法話を聴聞される姿からは、穏やかではあるが強い意志が感じられる。
教えの灯を絶やさない、そんな声と伽陀の発声が重なって聞こえた。

岡崎教区通信員
牧 仁志



お寺の掲示板

第18回

お寺の掲示板に込められたさまざまな願いを、今月の言葉と一緒に毎月お届けします。



ちょうぼうじ 聴法寺 (東京教区 茨城2組)
茨城県ひたちなか市平磯町550
住職 菊巒 真隆

終着駅は始発駅

この言葉は、推進員養成講座を終えて帰敬式を受式された方々に、今泉温資先生(地域同朋の会 往生人會 主宰)より送られました。ここがゴールだと、あぐらをかきそうになるけれど、真宗には定年も卒業もない、毎日が入学式なのです。この言葉から、1つの物事は状況や立ち位置によって見方が変わるということを教えられました。常に学び続けるという歩みの姿勢を大事にしていきたいものです。

北島三郎「終着駅は始発駅」 JASRAC 出 2409727-401 JASRAC許諾第J250141571号

聴法寺の伝道掲示板は、当初本堂前の1カ所だったが、年々車での参拝者が増えてきたことをきっかけに、墓地と駅前の2カ所の駐車場にも設置され、計3カ所となった。10年前まではそれぞれ別の言葉を掲示していたが、今ではすべて同じ言葉が張り出されている。
掲示板の法語を選ぶ時に常に気をつけていることは、わかっている任職がわからない人に何かを教えるということではないということである。自分がハッとさせられた言葉を常に書き留めておき、理屈っぽくならないか、見た人に気持ちよく伝わる言葉になっているか、坊守と相談しながらよく吟味し決められている。
「その言葉を見た人が10人いれば、10通りの受けとめがある」と任職は話された。掲示板を増設してからは、感想をいただく機会が増え、その感想を任職はノートに書き留めておられる。それが励ましとなり、掲示伝道の原動力となっている。これからも「日々聞法」という姿勢を大切に、伝道掲示板を続けていきたいと語っていただいた。

東京教区通信員
酒井 大樹



縁特設ページ



納骨・帰敬式 同朋会館宿泊プラン

納骨・帰敬式でのご参拝を縁に、同朋会館での生活を体験してみませんか?

詳細・お問い合わせ

同朋会館 | TEL: 075-371-9185 (直通)
研修部 | E-mail: dobokaikan@higashihonganji.or.jp

冥加金 1人: 10,000円 / 小学生以下: 5,000円 (泊朝食付)
詳細はホームページまたはお電話でご確認ください。

東本願寺御用達

日下念珠店

〒600-8174
京都市下京区烏丸通花屋町下ル
電話 (075) 351-6325
フリ-FAX 0120-89-5255
定休日: 日曜日



令和6年能登半島地震により、被害を受けられた皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

西暦 578年創業 寺院建築

剛 金剛組

本店 / 大阪・東京
支店 / 北海道・関東・名古屋
京都・九州
営業所 / 奈良・広島

0120-054-731

https://www.kongogumi.co.jp/

親鸞聖人がお念仏の教えを自分のところまで届けてくださった師として、生涯大切に仰がれた方々がいます。「七高僧」と呼ばれるインドの龍樹・天親、中国の曇鸞・道綽・善導、日本の源信・源空(法然)。そして「和国の教主」と仰がれた聖徳太子です。親鸞聖人は彼らからどんな「ひかり」を受け取られたのでしょうか。本号からは道綽について、3回にわたってたずねてまいります。

ひかりを 伝えたひと

七高僧と聖徳太子

第14回



道綽禅師

本師道綽禅師は

聖道万行

さしおきて

唯有浄土一門を

通入すべきみちと

とく

〔高僧和讃〕

『真宗聖典 第二版』五九六頁

〔現代語訳〕

根本の師である道綽禅師は次のように説いている。
聖道門の多くの修行ではなく、ただ浄土門の教えだけが目的の地まで到達できる道筋である、と。

廃仏を経験する

道綽禅師(五六二―六四五)は、中国の北斉に生まれました。ちょうど道綽禅師が出家した頃、隣国北周の武帝が苛烈な仏教弾圧政策を始めました。これを廃仏といいますが、やがて北斉は北周に亡ぼされました。道綽禅師も廃仏の影響を受け、僧侶として仏道修行を続けられなくなります。恐らくは、優秀な師や先輩たちですら志半ばで仏道を断念せざるを得ないさまを目の当たりにしたことでしょう。

その後、北周は隋に亡ぼされ、それとともに廃仏政策も終わりました。道綽禅師は再び出家しましたが、いつまた廃仏が行われるかも知れないと危機感を持っていたはずですが。

聖道門の厳しさ

仏道修行を再開した道綽禅師は、『涅槃経』の研究に没頭します。『涅槃経』にはさまざまなテーマがあります。その中でも特に注目されたのが、あらゆる衆生には仏と成る性質(仏性)があるという教説でした。当時も現在も、私たちは次のように考えがちです。仏に成るといった素晴らしい成果には、それに相応しい修行や素質が必要だ、と。『涅槃経』は、そのような修行や素質がなくとも、仏に成る性質が皆にそなわっているのだと説きます。これはかなり衝撃的な教えでした。

その一方で、仏性を確かめるためには、聖道門によらなくてはならないとも『涅槃経』は

説きます。聖道門とは、自力のさまざまな行によつて煩惱を離れることを目指す仏道です。

しかし、自力の行を修するには適切な環境がなくてはなりません。もちろん、修行をやりに遂げる素質も必要です。廃仏を経験した道綽禅師はこの聖道門をかなり厳しい道だと感じたことでしょう。

曇鸞大師の碑を読む

道綽禅師は四十八歳の時、曇鸞大師ゆかりの玄中寺にあった碑文にいたく感動して、浄土教に深く帰依したと伝えられています。この碑文は現在に伝わっておらず、詳細な内容はわかりません。しかし、それは曇鸞大師の功績を顕彰するものであったといえます。これを読んだ道綽禅師は、聖道門以外に、阿弥陀仏の誓願に帰依する浄土門という仏道があるのだと気づかせられたのです。また、その道を実際に歩んだ曇鸞大師という先達

がいたことも、大きな励みになったでしょう。道綽禅師は、碑文が示す仏道から明るいひかりを感じたはずですが。この後、道綽禅師は、環境や素質によらない浄土門の念仏行を、自らも行じ、また人びとも勧めました。



わけみ あきら
采翠 晃
大谷大学文学部
仏教学科教授
京都教区近江第25西組
長光寺住職



拝みつつ
拝まれて行く
蓮如輿

金三郎

特集

蓮如上人御影道中

京都・真宗本廟(東本願寺)～福井県あわら市・吉崎別院往復約420キロ
蓮如上人に徒歩でお供する江戸時代から続く御仏事

蓮如上人御影道中とは？

本願寺第8代・蓮如上人による北陸教化の御苦勞とその徳を偲ぶ法要・蓮如上人御忌法要が、毎年4月23日から5月2日までの10日間、蓮如上人ゆかりの地・吉崎別院において勤まります。

御忌法要にあたっては、毎年京都の真宗本廟(東本願寺)から蓮如上人の御影を御輿に乗せ、上人が歩いたとされる道のりを徒歩で7日間かけて、琵琶湖の西側を通って吉崎別院まで旅をします(御下向)。法要が勤まった後、今度は琵琶湖の東側を通り、8日間かけて京都に帰ってこられます(御上洛)。

寺院や門徒宅といった会所に立ち寄り、随行教導による法話を聞きながら、上人のお供をする供奉人らによつて京都と吉崎を往復します。道中ではお参りの方が花をそなえたり、農作業の手を止めて合掌し、念仏される姿も見られます。こうして蓮如上人御影道中は、真宗本廟と蓮如上人御教化の地・吉崎をつなぐ大切な御仏事として脈々と伝えられ、本年度で352回を迎えます。



蓮如上人御影

蓮如上人さまのお通りMAP



今年の随行教導さんから「ひとこと」

御下向…國分大慶氏(能登教区安泉寺)

御影道中はお迎えするのも大変です。会所のご苦勞を思うと、毎回の道中は次世代に伝えるための重たい責任を背負っています。「蓮如上人さまのお通り」の触れ声は、阿弥陀さんから世間への呼びかけです。昨年の地震を経て、朝晩お内仏でお勤めできること自体、非常に有り難いことだと感じます。お内仏にお参りするのも御影道中を歩くのも同じことです。日頃の歩みが御影道中につながるのだと思います。ぜひ一度、二区間でも御影道中を歩いてみてください。

御上洛…太田浩史氏(富山教区大福寺)

私は2019年の御上洛と2023年の御下向の随行教導をつとめました。その間にコロナ下があつて、蓮如上人御影道中に有形無形のダメージを相当受けたと感じます。しかし、その2回の経験をおして、御影道中は土徳と土徳をつなげて郷土を活性化する力を強くもった仏事であることに気づかせてもらいました。この「土徳の連結」が能登をはじめとする北陸の被災地にも延びつなげていくことを念じてトレーニングに励んでおります。

越前(福井県)と加賀(石川県)の県境 吉崎別院にお参りしよう!!

蓮如上人が吉崎で布教活動を行った期間は、わずか4年あまり。

しかしこの短い間に、今日の真宗門徒の生活につながる3つの大切なお仕事

- ①『御文』の制作 ②御本尊の統一(六字名号の頒布) ③『正信偈』『三帖和讃』の印刷

による勤行の統一をされます。こうして、今日まで伝わる真宗門徒の行儀や宗風は、吉崎を起点に確立されたといっても過言ではありません。

真宗門徒の生活の原点・吉崎別院にぜひお参りください。

真宗大谷派 吉崎別院
福井県あわら市 吉崎1-301

- 北陸新幹線 芦原温泉駅より 車で約20分
- IRいしかわ鉄道 大聖寺駅より 車で約15分
- 飛行機 小松空港より 車で約40分
- 北陸自動車道 加賀インターより 車で約10分
- 金津インターより 車で約15分

江戸時代から続く信仰の歴史に参加してみませんか?

「蓮如上人御影道中」
自主参加者募集中!

詳しくはこちら



※冒頭の句は、御影道中に長年お供された後藤金三郎さん(福井県あわら市在住)によるものです。

● 勿忘の鐘 -2025-

日時 2025年3月11日(火)
午後2時46分

東北教区では「東日本大震災を心に刻み、犠牲者を悼み、今後も復興と支援の思いを繋げていきたい」という願いのもと、震災後に土中から発見された陸前高田市本稱寺の梵鐘とともに、全国で同時刻(3月11日午後2時46分)に鐘をつき法要を勤める呼び掛けを続けてきました。
今日気候変動により、過去に経験したことのない大規模災害がいつ身近に

起こってもおかしくない現状があります。そして、世界で毎年のように風水害や大きな地震が発生しています。しかし、私たちはそれらを真に自らの身に起こり得ることとして受けとめているでしょうか。
あの日から14年…。あらためて呼び掛けの主旨にご賛同いただき、それぞれの今いる場所で勿忘の鐘の衆会をお勤めいただきますようご案内いたします。



東北教区「勿忘の鐘」特設サイトをご覧ください、被災地に思いを寄せましょう。
※「勿忘の鐘」を開催される寺院を特設サイトにてご紹介します。開催されるご寺院は東北教務所(022-297-2824)までぜひご連絡ください。



お東さんガイド

● お知らせ

渉成園ガイドブック・ホームページ・案内看板をリニューアル。散策路も変更

真宗本廟の飛地境内地「渉成園」において、ガイドブック、ホームページ、案内看板の一斉リニューアルを実施した。
2024年10月23日より、渉成園入口で庭園維持寄付金を納めていただいた方に配布しているガイドブックを大幅リニューアル。持ち運びがしやすいよう、これまでのA4判からA5判にサイズを変更し、更に冊子版か電子版の選択が可能になった。
そして、ホームページも2024年10月22日より



リニューアル。園内の建物の紹介に加え、植物の見頃時期を紹介するページを新設するなど、内容を充実させた。
また、参観者対象アンケートで「順路表示がわかりにくい」という意見が出たことを受けて、園内を散策する順路や説明看板も、よりわかりやすく、庭園の景観に配慮したものに変更した。
ご参拝の折には渉成園にもぜひ足をお運びください。
渉成園のホームページはこちら



『現代の聖典』(第3版) 挟み込み冊子の発行

このたび、「同朋の会」テキストである『現代の聖典』(第3版)中の『観経』序分・禁母縁の文意及び要語解説「施陀羅」について、是施陀羅問題学習テキスト『御同朋を生きる』(2024年1月発行)に則して修正した、挟み込み冊子を発行しました。
本冊子をご活用いただき、「是施陀羅」の課題について理解を深め、『現代の聖典』『現代の聖典 学習の手引き』ご使用の際の一助としていただきたく存じます。

お問い合わせ
解放運動推進本部 Tel:075-371-9247
教学研究部 Tel:075-371-8750



冊子は東本願寺出版
ホームページより
ダウンロードできます。



読者のお便利

ケンカも「生き方」を学ぶ機会

富山県高岡市
河原 伊通子(63歳)

保育園に通う4歳の孫は、最近G君とよくケンカをし、ひどい時にはかんだりかまれたりします。「かまないでね。人をかむと歯が取れて、大好きなおかき食べられなくなるよ。お口で伝えてそれでもだめなら先生を呼んでね」と毎回言い聞かせていると、孫は「今日のはかまなかった」「我慢

したけどかんじゃった」と報告してくるようになりました。ケンカをしなかった日にも報告してくれるので、本人もよほど気にしているのでしょう。
『同朋新聞』2024年11月号の「人間といういのちの相」を読んで、いろいろ気がつかしました。それは、子どもにとっては

すべてが「生き方」を学ぶ機会であり、周りの大人はただまっすぐにその子を見て考え、その子が伸びたい方へ伸びていけるように手助けをすればいいのだということです。息子夫婦にも内容を話して聞かせ、一緒に考える機会になりました。ありがとうございました。

お便り募集 『同朋新聞』の感想をはじめ、日々の思いなどをお寄せください。宛先 Eメール/shuppan@higashihonganji.or.jp FAX/075-371-9211 〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上 東本願寺出版「同朋新聞編集係」 ◆住所・氏名・年齢・電話番号を明記してお送りください。紙幅の都合上、掲載時は添削・抜粋させていただく場合があります。

救援金を勧募しています

宗派では、「令和6年能登半島地震」に対する救援金を勧募しています。皆さまからの温かいご支援をお願い申し上げます。

救援金口座 郵便振替口座番号 00920-3-203053 加入者名 真宗大谷派 ※通信欄に「令和6年能登半島地震」とご記載ください。 救援金総額 242,383,255円 (2024年12月23日現在)

被災体験を経てあらためて受けとめられてきた念仏の教え

伝道ブックス91
一被災地 能登からのメッセージ
立ち上がる念仏
竹原 了珠 著
新書判 80頁 / 定価: 330円(税込)

近日発売

真実の救済を求めて

親鸞の教えを独創的に考究し、教団内はもとより、西田幾多郎などの思想家にも影響を与えた近代真宗教学の巨人・曾我量深(1875~1971)。その生涯と思想を尋ねる一冊。

曾我量深 生涯と思想
真宗大谷派教学研究部 編
A5判 280頁 / 定価: 1,980円(税込)

近日発売

“光”に会えた喜びにあふれ、思わず笑顔になる法話CD

「本願に生きた念仏者」⑩
光を蒙る
松本 梶丸 (法話者)
76分 / 定価: 1,980円(税込)

新発売

真宗門徒として帰敬式(おかみそり)を受けましょう

ご案内

真宗本廟

開門・閉門時間/3月~10月:5時50分~17時30分
11月~2月:6時20分~16時30分

晨朝(おあさじ)

【場所】阿弥陀堂及び御影堂
【時間】毎日7時~

晨朝法話

【場所】御影堂
【時間】毎日7時30分頃~

真宗本廟法話

【場所】視聴覚ホール・御影堂・参拝接待所仏間
【時間】通常 10時10分~/13時10分~
速夜日(12・27日)13時10分~
御命日(28日)9時30分~
※その他、時間・会場を変更する場合があります。

参拝接待所ギャラリー

【時間】9時~16時
「蓮如上人御影道中展」(1階)(2月6日~)
「両堂再建展」(地下1階)(2月6日~)



詳しくは → 東本願寺 検索

しんらん交流館

真宗本廟(東本願寺)へご参拝の際には、ぜひお立ち寄りください。
開館時間/9時~17時 休館日/毎週火曜日

2月の定例法話

【時間】毎日14時~(12日・27日は10時~)
※休館日は休会。その他、都合により休会する場合があります。

2月の東本願寺日曜講演

【時間】9時30分~11時
【講師】2月2日 橋本 真氏 (企画調整局参事)
2月9日 安藤 弥氏 (同朋大学教授)
2月16日 藤原 智氏 (教学研究所研究員)

交流ギャラリー

「お釈迦さまとその風景」展(~2月9日)
女性室ギャラリー展
「ジェンダーと法名」展(2月19日~)

詳しくは → 浄土真宗ドットインフォ 検索

2025年

真宗本廟奉仕に参加してみませんか

真宗本廟奉仕を機にぜひ帰敬式を受式ください

おみがき奉仕団

孟蘭盆会を迎えるにあたって、真宗本廟内の仏具のおみがきを中心とした奉仕団です。



参加者のひとこと

一つの大きな仏具を最後まで時間一杯磨くことができました!

2泊 2025年 7月1日(火)~3日(木)
1泊 2025年 7月1日(火)~2日(水)

【参加費】(2泊3日)18,000円、米2kg(1升4合)または米代1,300円
(1泊2日)13,000円、米1.2kg(8合)または米代800円
※上記は大人(15歳以上)の場合です。

※申込締切は各入館日の40日前です。

お申し込み・お問い合わせ 同朋会館・研修部 TEL:075-371-9185

真宗本廟奉仕は通年で受け入れています。同朋会館HPはこちら

今月号の『同朋新聞』を読んで、クロスワードパズルを完成させよう!

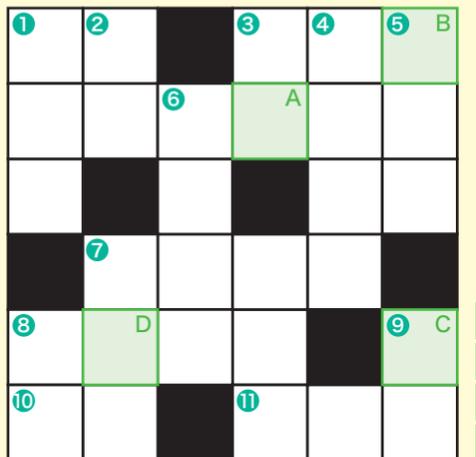
タテのカギ

- 1 「現在を生きる」愛知県西三河地方ではかつて、「〇〇講」と呼ばれるお講が盛んでした。(4面)
2 本願寺第8代・蓮如上人による北陸教化の御苦勞とその〇〇を偲ぶ法要・蓮如上人御忌法要が、蓮如上人ゆかりの地・吉崎別院において勤まります。(6面)
3 相続講金とは「法義相続(お念仏の教えを次代に伝えていくこと)」と「本廟護持(聞法の根本道場である真宗本廟の維持)」を願いとす宗派財政の〇〇んとなるご懇志です。(2・3面)
4 齋冥加金は、真宗本廟におけるお齋及び涉成園における〇〇〇〇のお申込みの際にお納めいただく冥加金です。(2・3面)
5 あなたのお悩みお聞きします 東本願寺〇〇〇ところの相談室(5面枠下)
6 「七高僧」はインドの〇〇〇〇ゆ・天親、中国の曇鸞・道綽・善導、日本の源信・源空です。(5面)
9 東本願寺出版発行の月刊誌『同朋』には、2024年9月号より、音文化研究者で、フィールド録音作家でもある柳沢英輔氏による「録音から立ち現れる東本願寺の「〇〇景」」が連載されています。(7面)

ヨコのカギ

- 3 「読者のお便り」今月のタイトルは「ケンカも「生き方」を学ぶ〇〇〇」です。(7面)
7 青少〇〇〇〇センター費は、真宗本廟における青少年教化に関する事業や青少年教化に取り組む団体への助成などに関する予算が計上された科目です。(2・3面)
8 「〇〇〇〇うは一人一人のしのぎなり」(1面・「今月の法話」)
10 「ご案内」参拝接待所ギャラリーでは、2月6日より「蓮如上人御影〇〇中展」が開催されます。(8面)
11 「ご案内」おみがき奉仕団は、う〇〇〇えを迎えるにあたって、真宗本廟内の仏具のおみがきを中心とした奉仕団です。(8面)

「タテのカギ」「ヨコのカギ」それぞれの設問に答え、クロスワードパズルを完成させましょう! 2月号の『同朋新聞』を読むと、ほとんどの答えがわかります!!



12月号のクロスワードパズルの答えは、ねんまつ

答え A B C D ※答えはすべて「ひらがな」でお答えください。

編集室だより

『同朋新聞』2024年11月号のクロスワードパズルに寄せられたおはがきに、「ほうおんこの大きなもちはどうやって食べるんですか」と8歳の女の子から質問をいただきました。こんなにも小さな読者がいることをありがたく思うとともに、その目のつけどころに驚きました。調べてお返事を書きたいと思います。(山本)

《お詫びと訂正》

2025年1月号6面「人と生まれて能登の大地に親鸞と生きん〜能登教区報恩講〜」掲載の「末森昌代さんの感話」に誤りがありました。謹んでお詫び申し上げます。

《正》第1組の有志が集まり、珠洲市内の避難所へ16回にわたり炊き出しが届けられました。また、大谷婦人会能登第1組支部では、被災地で法話・体操・現地での買い物とおして復興を支援するボランティア活動を行いました。今後もできる形の支援を続けていけたらありがたいです。

読者のこえ 11月号を読んで ◆今年子どもが生まれたばかりなので、2・3面の「社会の中で「子ども」は育つ」は興味深かったです。(岐阜県30代) ◆4・5面の報恩講の記事を読んで、昔幼い頃、お寺に集落の人びとが集い、「お齋」を美味しくいただいていた記憶がよみがえってきました。(福井県60代)

正解者の中から抽選で3名様に「東本願寺出版オリジナル図書カード1,000円分」、2名様に月刊『同朋』をプレゼントします!

郵便はがきまたはメールにて、①「クロスワードパズルの答え」②「郵便番号」・「住所」・「氏名」・「年齢」・「電話番号」と③『同朋新聞』の感想や紙面に関する要望を添えて、右記までご応募ください。今月号の締め切りは3月10日(月)(当日消印有効)です。

宛先 〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 東本願寺出版 「クロスワードパズル係」まで

メールでも応募できます!

はがきと同様に必ず左記①②③を記入し、「件名」に「同朋新聞2月号クロスワード応募」と入力の上higashihonganjishuppan@gmail.comへお送りください。



〈ご注意〉 ◆当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。◆個人情報プレゼントの発送および紙面づくりの参考に使用し、それ以外の目的には使用しません。◆感想は「読者のお便り」や「読者のこえ」に掲載する場合があります。◆本クロスワードパズルは、独自のルールに基づいて作成しております。

ご注文・お問い合わせは



TEL 075-371-9189

FAX 075-371-9211

詳しい書籍情報は

東本願寺出版 検索

LINE アカウントを開設しました!



@469jqkzt



会員登録フェア



はじめての会員登録でポイントがもらえます!

【期間】2月28日まで

2023年10月にリニューアルした東本願寺出版ホームページ。皆様にはあらためて会員登録をさせていただいております。まだお済みでない方、この期間にご登録いただくと、登録時に500ポイントをプレゼント! ポイントは、ホームページ内のお買い物でお使いください!

「仏教がみちびく、あらたな人生」

特集 記憶 — 記すこと、おもうこと

インタビュー 柴崎 友香

※録音から立ち現れる東本願寺「音景」連載中!!

月刊『同朋』2月号



A4判・オールカラー 60頁/ 定価:400円(税込・送料別) 年間購読:4,200円(税込・送料込)

真宗大谷派 儀式軌範

儀式指導研究所 編



真宗大谷派の儀式の総合書。儀式の意義や歴史、お荘厳やお給仕、法要や式次第を網羅し、関連条例も収載した儀式を学ぶ決定版。

A4判・箱入り 390頁/ 定価:3,850円(税込)

好評発売中 真宗聖典

第二版



大判 定価 4,950円(税込) 小判 定価 4,400円(税込)